

副甲状腺摘出術を受けられる患者様へ（二次性）

副甲状腺摘出術パス（二次性）【20012-00】

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No1

	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	入院日	2 日目 (手術当日)	3 日目 (術後 1 日)	4 日目 (術後 2 日)	5 日目 (術後 3 日)	6 日目 (術後 4 日)	7 日目 (術後 5 日)	8 日目 (術後 6 日)	9~10 日目 (術後 7~8 日)	
目標 毎日看護師と 評価します	☐ 治療の内容がわかる（必要性が理解できる）									
	☐ 入院生活、手術についてわかる ☐ 体温が正常である（38℃以下）		☐ 創部に問題がない（創部の著明な腫脹がみられない） ☐ 必要な時は痛み止めの薬を使用し、痛みが軽減できる				☐ 創部の抜糸ができる		☐ 創部の離解がない	
			☐ ドレーン挿入中の注意点がわかり安全に取り扱いができる					☐ 退院後の生活の注意点についてわかる		
	☐ 安静が守られている					☐ ドレーンからの排液量が増量しない		☐ ドレーンが抜ける		
	☐ テタニー症状（しびれ）がなくすごすことができる									
内服 注射			・抗生剤の点滴（1 日 2 回） ・術日は補液（5 時間程度）を実施 します。翌日以降は食事摂取状況に 合わせて行うこともあります 	退院基準：☐テタニー症状（しびれ）がない ☐創部の感染や離解がない ☐退院後の注意点がわかる 						
			・必要時、カルシウムの点滴を行います   							
検査			・朝に採血します ・回診時に内視鏡で喉の診察をします		・朝に採血します		・朝に採血します			
	※必要時採血をさせていただくことがあります									
治療 処置	・主治医から手術について説明が あります ・麻酔科医、手術室看護師がお部 屋に伺います。時間未定のため、 できるだけお部屋にいて下さい		・検温（1 日 3 回）				・検温（1 日 1 回）			
			・毎朝6時にドレーン排液の測定を行います（排液の量が減るとドレーンが抜けます） ・9 時頃（休日は 9 時半）から病棟内の耳鼻科処置室で診察があります ・創部は透明なフィルムで保護しており、抜糸までそのままです				・抜糸の予定です			
食事 飲水	・絶飲食の時間をお伝えします		・手術後は医師の許可が出たら、飲食 ができるようになります。食事はお 粥が出ます ・術後 2 日目よりご飯に戻りますが、お粥希望の方はお知らせ下さい							
清潔	・浴室使用の時間については看 護師からお伝えします		・手術日から術後 1 日目までは、タオルで体を拭くことになります。管が抜 けたり、傷口に負担がかからないように看護師がお手伝いします			・診察前に看護師介助で洗髪できます ・下半身シャワーに入ることができます		・ドレーンが抜けたら当日から全身シャワー浴ができます		
安静 活動	・院内自由		・手術後、ベッドの頭側は少しあげ ておいた方が、呼吸が楽にできま す ・トイレ・洗面以外はお部屋で安静 に過ごしましょう 							
説明 指導	・術後の注意点について看護師か ら説明します		・手術日にはバスタオルを 1 枚ベッ ドに用意してください						《退院後の生活について》 ・入浴時に傷あとを洗浄し毎日テープを 交換してください ・「傷のお手入れについて」のパンフレッ トを参照してください ・薬が処方された方は飲み忘れのないよ う医師の指示通りに服用してください	